

自治会に入ろう！

みんなで築く まちづくり



香美市イメージキャラクター
©やなせたかし

地域での救助活動が命を救う！
南海トラフ地震などの災害に備えて組織される市内の自主防災組織は、ほとんどが自治会単位でつくられています。「遠くの親戚より近くの他人」ということにわざがあるように、災害時に頼りになるのは、日頃の絆、住民自治です。
東日本大震災では、井戸のある家が水を用意し、かまどのある家で米を炊いて、おにぎりを配るなど、地域の協力が見られました。阪神・淡路大震災でも、救出

された方の約95%の方が自力または家族や隣人などに助けられています。
要望は自治会から
市役所では、地域の要望を自治会単位で受け付けています。生活道路の拡張や、地域における市への要望は自治会を通して行われ、自治会への補助金もあります。
自治会活動に参加することで、人とのつながりや、達成感・充実感が得られた方も多くいます。まずは、自治会にご加入ください。

◆市内の自治会加入率(推計) 平成26年5月1日現在

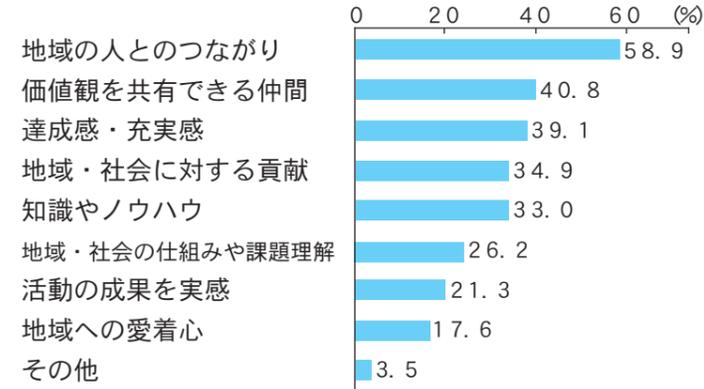
区域	加入世帯数/全世帯数	加入率
香美市全域	8,433 / 12,923	65.3%
土佐山田町内	5,523 / 9,451	58.4%
香北町内	1,845 / 2,283	80.8%
物部町内	1,054 / 1,189	88.6%

※自治会の広報配布世帯数から推計

◆市内の転入・転出状況

年度	転入世帯数	転出世帯数	転入-転出
平成25年度	524	351	173
平成24年度	423	322	101
平成23年度	372	302	70

◆地域活動に参加して得られたこと



【出典】内閣府『平成19年度版 国民生活白書』

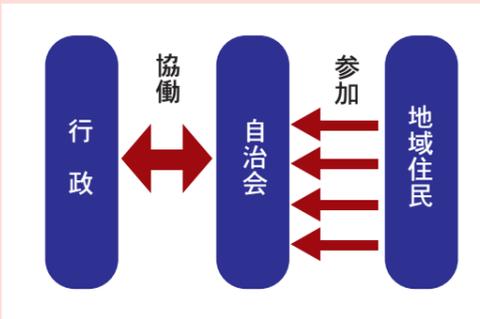
もしも自治会がなくなったら...

このまま自治会離れが進み、自治会がなくなってしまった場合、地方自治は崩壊すると考えられます。「地域でできることは地域が担い、地域ではできないことを行政が担う」という、市民協働のまちづくりを進めることが不可能になるからです。

これまで自治会の協力を得て担ってきた地方自治。全てを行政で行うことは不可能です。自治会がなくなると、地域のつながりが薄れ、みんなで分担していたことを続けていくのが難しくなり、次のようなことが考えられ、安全安心のまちづくりが困難なものとなります。

- 地域内での協力の低下
- 地域の環境悪化
- 地域の伝統文化が消滅
- 地域の調整役がいなくなる
- 隣人間のトラブルの増加
- 凶悪犯罪の発生

■自治会と行政



自治会への加入方法

住んでいる地域の自治会長さんの連絡先を近所の方に聞いて連絡するか、市役所にお問い合わせください。

■問い合わせ先

まちづくり推進課 ☎53-1061

自治会から「引越越ししてきた人が自治会へ入ってくれない」「自治会を脱会する人が増えてきた」という声があがっています。
市では、転入された方に対し、『自治会に加入しましょう』というチラシを配布し、自治会への加入を推進しています。
少子・高齢化が進む中、地域ぐるみでの子育て支援や、高齢者が安心して暮らせるような見守りや、支え合いが必要となってきました。地域における自治会の役割を知り、自治会に加入しましょう。

ごみステーションは自治会が管理

市内のごみステーションは、自治会によって管理されています。

自治会のおかげで暗い夜道も安全に

暗い夜道も、防犯灯のおかげで、安全に安心して歩いているのではないのでしょうか。市内の防犯灯の大半は自治会が管理しています。新たに防犯灯を設置する場合は、自治会費等によって賄われています。

※マンション等に設置されたものをぞく

自治会から「引越越ししてきた人が自治会へ入ってくれない」「自治会を脱会する人が増えてきた」という声があがっています。自治会に入っていないと、自治会からの周知事項を知ることができないため、知らない間に、地域のルールをやぶっているのかもしれない。 ※マンション等に設置されたものをぞく

